

環境 NEWS (第32回)



全日本サーフキャストイング連盟本部 環境部

会員の皆さまには、毎年クリーンアップ活動を計画実施していただいておりますが、中にはお子様たちにも参加していただき活動されているケースもあるかと思ひます。これからさきクリーンアップ活動を継続していくためには、このような若い力が必要です。

ベテランの皆さまには十分にご理解いただいているとは思ひますが、事故防止のためにも、ここであらためて、海岸でのクリーンアップ活動時の注意事項をご紹介しますので、参考にしてください。

危険なごみを知る

海岸のごみには触れると危険なごみもあります。

危険なごみを見つけたら、直接触れずに地元自治体、河川や海岸の管理者等の関係機関に連絡しましょう。また、子供達には、必ず近くにいる大人に声をかけさせましょう。

危険なごみとは

注射器・針

刺さるとケガをしたり、ばい菌に感染することもあるので危険です。

ポリタンク等の容器

薬剤などが残っていると肌に触れて炎症を起こしたりするので危険です。

ガラスの破片

触るとケガをしたりするので危険です。

動物の死骸

クラゲなど死んでも毒が残っている場合があるので触れると手が腫れたりして危険です。

その他

容器のフタを開けない。中に残っていた薬剤でケガをすることがあります。消火器など普段から手に触れない物には手を触れるのは避けましょう。



海をつなぐ
プロジェクト
—海に想いを—

日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION